

★参加無料(一般の方も参加いただけます)

協賛



在日フランス大使館



共催



仙台日仏協会 アリانس・フランセーズ

主催



風景の前で書く

“ É c r i r e d e v a n t u n p a y s a g e ”

セリア・ウダール Célia Houdart

Conférence-lecture

Célia Houdart est l'auteur de trois romans. En séjour au Japon, en mars et avril, elle a pour projet d'écrire un cycle de poèmes, un an après « le 11 mars ». Ayant posé son chevalet à Matsushima principalement, Célia Houdart nous fera part de ce qu'est écrire devant un paysage en citant certains écrivains qui l'ont influencée, Proust, Baudelaire, Pavese et Segalen.

2012年 **4/17** (火) 16:30~18:00

会場：東北大学川内北キャンパス 講義棟B棟1階B104

Mardi 17 avril 2012, Université du Tôhoku, Campus de Kawauchi Nord, bâtiment de cours B, étage 1F, salle B104 à 16h30. Pour toute question, voir les contacts ci-dessous.

日本語・フランス語
逐次通訳あり

(大学院国際文化研究科:坂巻康司・准教授)



<講演者について>

1970年パリ生まれの詩人・小説家・演出家。エコール・ノルマル・シュペリウール(パリ、ウルム街)で文学と哲学を学んだ後、彼女は舞台芸術の世界で演出助手として数年にわたって研鑽を積んだ。その後、小説家として頭角を現した彼女は、『世界の驚異』(2007年)、『雇い主』(2009年)、『カラーラ』(2011年)などの作品をこれまでに刊行し(出版社はいずれもP.O.L)、いずれも高い評価を受けている(2008年、『世界の驚異』でアカデミー・フランセーズのアンリ・ド・レニエ賞を受賞)。その他、劇作品のテキスト(『海底の樹々』(1999年)、『既にまどろんで』(2011年)など)、オペラ台本(『頻度』(2004年))のみならず、ダンス・音楽などの為のテキストを数多く執筆している。

3.11の東日本大震災における東北地方の惨状に心を打たれた彼女は、2012年3月から2カ月に亘って松島に滞在し、その地で作品を書く予定である。今回の講演では、松尾芭蕉の作品とその生き方に靈感を受けつつ、様々な小説家や詩人たち(プルースト、ボードレー、パヴェーゼ、セガレン)の世界を踏破しながら、「風景を前にして書く」ということの意味を考える。

セリア・ウダールのより詳しい情報については、仙台日仏協会アリانسフランセーズのサイトをご参照ください。

<http://alliancefrancaise-sendai.org/>

<プログラム>

16:30~16:35 開会挨拶 Discours d'ouverture
浅川 照夫
(高等教育開発推進センター・教授)

16:35~16:45 趣旨説明 Présentation de la conférence
ドゥヴィエンヌ・ドゥニ
(高等教育開発推進センター・講師)

16:45~17:40 講演 Conférence par Célia HOUDART
セリア・ウダール

17:40~17:55 質疑応答 Séance de questions-réponses

17:55~18:00 閉会挨拶 Discours de clôture

参加申込み方法 Webから申込みいただけます。 ※行事カレンダーからお進み下さい。

<http://www.he.tohoku.ac.jp/> 東北大学高等教育開発推進センター 検索

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、pffp_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

お申込みのお問合せ



東北大学高等教育開発推進センター
TEL.022-795-7551
Email.caheoffice@he.tohoku.ac.jp